

安全データシート (SDS)

作成 2018年7月25日
改定

1. 化学品及び会社情報

製品名	アワフォーム	AW-500
供給者名	ジェフコム株式会社	
住所	〒579-8014 東大阪市中石切町3-13-16	
担当部署	品質管理課	
電話番号	072-988-3813	
FAX番号	072-988-3800	
種類	一液型簡易発泡ウレタンフォーム	
用途	断熱、結露防止、空隙充填、結露防止、遮音など	

規制 (EC) No 1272/2008に基づく分類
この製品はEU Directives-(EC) No. 1272/2008に基づいて
危険物として分類されています。

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

可燃性ガス 区分1

健康に対する有害性

急性毒性 区分4
皮膚腐食性/刺激性 区分2
眼損傷性/眼刺激性 区分2
呼吸器感作性 区分1
皮膚感作性 区分1
発がん性 区分2
特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2
生殖毒性・授乳に対する又は授乳を介した影響
水生環境有害性 区分3

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール
229 高压容器: 熱すると破裂のおそれ
351 発がんのおそれの疑い
362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ
332 吸入すると有害
373 長期にわたる、または反復暴露による臓器の障害のおそれ
319 強い眼刺激
335 呼吸器への刺激のおそれ
315 皮膚刺激
334 吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
412 長期継続的影響により水生生物に有害

注意書き

予防策

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
102 子供の手の届かないところに置くこと。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。
251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。
P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
260 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
410/412 日光から遮断し、50°C 以上の温度に暴露しないこと。
取扱い後は、手を良く洗うこと。

廃棄

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に
業務委託すること。

3.組成、成分情報

単一製品混合物の区別

混合物

化学名	含有量 (%)	官報公示整理番号	CAS.No.
ポリメチレンポリフェニルイソシアネート	> 25	-	9016-87-9
プロパン	< 10	-	74-98-6
イソブタン	< 10	-	75-28-5
ジメチルエーテル	< 10	-	115-10-6
クロロアルカン C14-17	< 2.5	-	85535-85-9

4.応急処置

目に入った場合	目を開けて、ぬるま湯で十分洗い流してください。(少なくとも10分) 医師に相談してください。
皮膚に付着した場合	拭き取る。患部を石鹼と十分な水で洗う。刺激が持続する場合は、医師に相談してください。
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移してください。医師に相談してください。
飲み込んだ場合	無理に吐き出させない。2杯の水を与える。意識が無い場合、絶対に口から何かを与えないでください。医師に相談してください。

5.火災時の措置

消火方法	炭酸ガス、泡、霧状水(棒状水は不可)で消火する。適切な呼吸保護具と保護服(耐熱性着衣など)を着用する。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火活動は風上から行う。
消火剤	炭酸ガス、泡、霧状水

6.漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には手袋、防護マスク、ゴーグル等を着用し、ガス等を吸入しないよう注意 屋内であれば換気を良くする。 発火源から遠ざけること。-禁煙-
環境に対する注意事項	河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意すること。 液体の吸収に続き、汚染された部分を洗剤と水で洗い流してください。
封じ込め及び浄化の方法・機材	機械的手段により固化させて除去する。 汚染された表面をアセトンで洗浄(処理)する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い	換気の良い場所で取り扱う。
保管	涼しく乾燥した場所に保管してください。保管温度:50℃未満 直射日光を避けて保管してください。 酸化剤と一緒に保管しないでください。 可燃性の物質で保管しないでください。 酸や塩基から離してください。 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。-禁煙。 熱/過熱から保護する。 熱は圧力の上昇と破裂の危険を引き起こす。

8.ばく露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない
許容濃度	
設備対策	プロセスの隔離、換気装置
保護具	呼吸用保護具
保護眼鏡	ゴーグル
保護手袋	ゴム手袋
保護衣	皮膚に触れないようにすること

9.物理的及び化学的性質

物理的状态	エアゾール
引火点	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし
爆発範囲	データなし
水に対する溶解性	互換性がありません
密度	20 +/-2 kg/m ³
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
蒸気圧	データなし
融点、凝固点	データなし
沸点	データなし
N-オクタノール/水分係数	データなし

10.安定性及び反応性

安定性	通常の使用条件下で安定。熱に暴露すると不安定になる。
反応性	容器は加熱すると爆発することがある。 高温で分解すると有毒ガスが発生することがある
避けるべき条件	容器は50℃以上の温度で爆発することがある。 酸や塩基から離してください。

11.有害性情報

急性毒性

	経口	吸入
ジフェニルメタン - ジイソシアネート(1)	LD50 >2000 mg/kg ラット	LD50 490 mg/m ³ (4h)
クロロアルカン C14-17	LD50 >4000 mg/kg ラット	-
イソブタン	-	LC50 658 mg/lt (4h) ラット
プロパン	-	LC50 658 mg/lt (4h) ラット
ジメチルエーテル	-	LC50 309018 mg/l ラット

アレルギー性呼吸器反応を起こすことがある。
MDI濃度が暴露基準を超えると、既に感作されている人でアレルギー呼吸反応を引き起こすことがあります。
喘息のような症状には、咳、困難な呼吸、胸の圧迫感などがあります。
場合によっては、呼吸困難が生命を脅かす可能性があります。

- (1)「ポリマー性MDI」(PMDI)は、30%~80%w / wの4,4'-メチレンジフェニルイソシアネート(MDI)を含有する工業用MDIである。残りはMDIオリゴマーおよびMDIホモログからなる

皮膚腐食性・刺激性

	皮膚	眼
ジフェニルメタン - ジイソシアネート(1)	OECD/404 ラビット	-
クロロアルカン C14-17	-	わずかに刺激

眼や皮膚に刺激を与えることがある。

慢性毒性

過度に暴露すると、眼、鼻の喉および気道に濃度依存性の刺激作用が生じる危険性がある。
苦情の出現が遅れたり、過敏症(困難な呼吸、咳、喘息)が発生する可能性があります。
過敏症の人は、英国職場暴露限界(WEL)を下回る濃度を含む低イソシアネート濃度でさえ、これらの影響を被る可能性がある。
皮膚との長期間の接触は日焼けや刺激作用を引き起こすことがある。

生殖毒性

この製品には既知または疑いのある生殖障害は含まれていません

標的器官効果

特定の標的器官効果を有すると報告されている成分を含有する。

12.環境影響情報

水生環境毒性

混合物での試験データはありません

ジフェニルメタン -	OECD/209	EC50 >100 mg/l (3h)	活性汚泥/細菌
ジイソシアネート (1)	OECD/202	EC50 >1000 mg/l (24h)	オオミジンコ・ミジンコ
	OECD/203	LC50 >1000 mg/l (96h)	ゼブラフィッシュ
クロロアルカン C14-17	-	EC50 >2000 mg/l (3h)	活性汚泥/細菌
	-	LC50 >5000 mg/l (96h)	ウグイ垂科
ジメチルエーテル	-	LC50 >4000 mg/l (96h)	魚
	-	EC50 >4000 mg/l (48h)	オオミジンコ

13.廃棄上の注意

容器及び包装

地方自治体の定めるルールに従い、分別して廃棄を行う

14.輸送上の注意

国連番号

1950

クラス

2.1

国際規制

海上規制情報: IMO規定に従う

航空規制情報: ICAO/IATAの規定に従う

国内規制

陸上規制情報: 消防法、高圧ガス保安法に従う

海上規制情報: 船舶安全法に従う

航空規制情報: 航空法に従う

緊急時応急措置指針番号

126

15.適用法令

高圧ガス保安法

エアゾール

消防法

危険物: 第四類 第四石油類 危険等級Ⅲ

船舶安全法

高圧ガス・引火性高圧ガス

航空法

高圧ガス・引火性高圧ガス

16.その他の情報

引用文献

厚生労働省 職場のあんぜんサイト GHS対応モデルMSDS

その他各原料MSDS

本データシートは当該製品の一般的な取扱いに際しての安全な取扱い方法について最新の情報を集めたものですが万全ではありません。新たな情報を入手した場合は追加又は訂正することがあります。当該製品を他の製品と混合したり、特殊な条件で使用したりするときは安全性の評価を行ってください。本データシートは保証値ではありません。